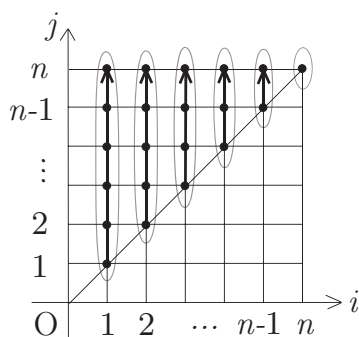
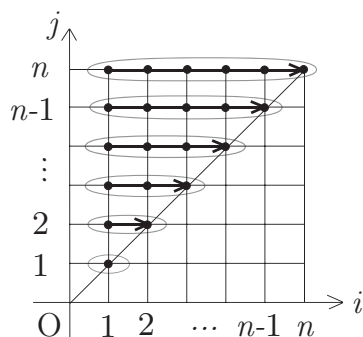


『大学数学ベーシクトレーニング』（日本評論社刊，2013年，初版）正誤表

ページ, 行など	誤 (現行版)	正
p.79, 1 行目	数の計算する	数の計算をする
p.81, 演習 13-1	補題	系
p.86, 命題 14-1, (Fc1), 結合法則の 2 番目の式	$\alpha + \beta = \beta + \alpha$	$(\alpha\beta)\gamma = \alpha(\beta\gamma)$
p.86, 命題 14-1, (Fc1), 交換法則の 1 番目の式	$(\alpha\beta)\gamma = \alpha(\beta\gamma)$	$\alpha + \beta = \beta + \alpha$
p.96, 1 行目	$\omega s_0 + \omega^2 t_0 = 2$	$\omega s_0 + \omega^2 t_0 = -2$
p.103, 下から 11 行目	この言い方する	この言い方をする
p.115, 12 行目	和をとることに 1 つ	和をとることにより 1 つ
p.125, 3 行目	$\overline{\exists x \in X \text{ s.t. } P(x)}$	$\exists x \in X \text{ s.t. } P(x)$
p.140, 10 行目	(2) から	先に示した積の結果から
p.141, 5 行目	上の命題 (2) の	上の命題の積に関する結果から
p.158, 下から 12 行目と 3 行目	$\max\{N + 1, N_0\}$	$\max\{N, N_0\} + 1$
p.162, 11 行目	演習 23-2	演習 24-2
p.164, 下から 3 行目	演習 23-2	演習 24-2
p.177, 1 行目	演習 26-2 の下の (3)	補題 26-3 の (3)
p.190, 12 行目	補題 28-1	補題 28-3
p.202, 3 行目	$0 \leq m < r$	$0 \leq r < m$
p.208, 10 行目	補題 31-1(1)	補題 31-1(2)
p.208, 12 行目	31-1(2)	31-1(1)
p.241, 演習 13-5	$\{n \mid n < 0\}$	$\{n \in \mathbb{Z} \mid n < 0\}$
p.244, 3 行目	あるする	あるとする
p.246, 演習 18-4	$\{(i, j) \mid \dots, i \geq j\}$	$\{(i, j) \mid \dots, j \geq i\}$
p.248, 9 行目	$\lim_{n \rightarrow \infty} \alpha + \lim_{n \rightarrow \infty} \beta$	$\lim_{n \rightarrow \infty} a_n + \lim_{n \rightarrow \infty} b_n$
p.248, 下から 10 行目	$\forall A$	$\forall a \in A$
p.250, 10 行目	α よりも	ε よりも
p.250, 11 行目	α 以上	ε 以上
p.250, 15, 17 行目	$ a_n - \alpha \geq \alpha$	$ a_n - \alpha \geq \varepsilon$
p.254, 2 行目	$a \in (a, b)$	$x \in (a, b)$

p.246, 演習 18-4 の解答に描かれている 2 つの図が正しくない。正しい図は下図：



上記以外の修正した方がよいと思われる箇所

ページ, 行など	現行	修正後	コメント
p.39, 下から 1 行目	P は Q と同値	P と Q は同値	同ページ 6 行目の記述に合わせるため
p.72, 下から 5 行目	入れ替え	入れ換え	同ページ下から 7 行目の記述に合わせるため
p.83, 12 行目	最大元と最小元	最小元と最大元	本文の登場順に合わせるため
p.84, 3 行目	最大元と最小元	最小元と最大元	同上
p.84, 5 行目	最大元も最小元も	最小元も最大元も	同上
p.113, 8 行目	対し	対して	記述を統一するため
p.125, 下から 13 行目	対し	対して	同上
p.131, 1 行目	その否定をそれと	その否定を, それと	他の箇所の記述と合わせるため
p.140, 7 行目	$\leq K\varepsilon_0 + \varepsilon_0 \beta $	$< K\varepsilon_0 + \varepsilon_0 \beta $	
p.207, 8 行目	2 以上の自然数	2 以上の整数	記述を統一するため
p.213, 11 行目	2 以上の自然数	2 以上の整数	同上
p.216, 命題 32-1, (F _Q 3)	任意の $r \in Q(\mathbb{Z})$ に対して, $\mathbf{1} \neq \mathbf{0}$ であって,	$\mathbf{1} \neq \mathbf{0}$ であって, 任意の $r \in Q(\mathbb{Z})$ に対して	より正確な記述にするため
p.216, 命題 32-1, (F _Q 4)	$r + (-r) = (-r) + r = \mathbf{0}$	$r + (-r) = \mathbf{0} = (-r) + r$	定理 13-1(F _R 4) の記述や (F _Q 5) の記述と統一させるため
p.220, 7 行目, (F4)	$a + x = x + a = \mathbf{0}_{\mathbb{K}}$	$a + x = \mathbf{0}_{\mathbb{K}} = x + a$	同上